

Meet in Mito

ミートインミト

～水戸で輝く人に会いにいく～

まちを形づくるのは、風景だけではなく、そこに暮らす人の力です。この連載では、市内で活躍する方の姿をとおして、地域の魅力と未来へのヒントを探ります。

問合せ▶みとの魅力発信課(☎232-9107)

04 水戸の魅力を伝える伝道師 ベリーダンサー 大江ジャスミンゆかさん

煌びやかな衣装をまとい、しなやかな動きで観客を魅了するベリーダンサー・大江ジャスミンゆかさん。プロのダンサーとして活躍する一方、水戸の魅力を発信する活動にも力を注いでいます。

ベリーダンスとの出会い

5歳でクラシックバレエを習い始めて以来、踊ることが大好きだったジャスミンさん。小学生の頃には教本を読み込み、技の仕組みを研究するほど熱心だったといいます。一度はバレエから離れたものの、高校卒業後に水戸から上京した際、運命的にベリーダンスと出会いました。

「腰の動きの面白さと、バレエとは違う独特の魅力に惹かれ、体験したその日に入会を決めました」と当時を振り返ります。しかし、熱心に踊り続ける中で怪我



やスランプに直面。その頃に、ひもを結んで体のバランスを整える「ひもトレ」や、自然と生命を体認する「韓氏意拳」と出会い、人間の自然な動きや、全てが調和した踊り方を追求していきま

す。そして、ベリーダンスの起源や、東洋・西洋の身体観を探究し、日本の美意識から踊りを見直した唯一無二の流派「ニッポニズム・ベリーダンス」を創出しました。

ジャスミンさんは、水戸で自身のスタジオを主宰するほか、2014年、「みと全国ダンスコンペティション」のオールジャンル部門で銅賞、2017年、「ベリーダンスコンペティションThe ONE 2017」フュージョンソロ部門で3位を受賞するなど、輝かしい活躍をしています。

踊りと言葉で伝える魅力

上京時には、学校に通いながら海外のホテルでもおてなしの研修に参加するなど、スキルアップに励みましたが、多忙な生活の中、体調を崩してしまいました。故郷の水戸に帰ることで状態はよくなり、「お世話になった故郷に、踊りと活動で恩返ししたい」という強い想いを抱くようになります。そこで、海外で



ジャスミン・ベリーダンス・スタジオ

踊る以前の体から丁寧に内観していきます。経験・年齢を問わず、どなたでも参加できます。

住所▶南町3丁目4-3
銚子屋果実ビル3階

詳細はこちら⇒



の研修で培ったホスピタリティや語学力を活かし、水戸梅お菓子プロジェクトに参加。水戸の梅まつりでは、積極的に「ふくゆい」のPRを行っています。ジャスミンさんは、まつりに関わるさまざまな方がおてなしをする様子を見て、「水戸っぽの圧倒的な団結力」に感動したといいます。

さらに、地域愛はとどまることを知りません。水戸ホーリーホッツの試合や水戸黄門まつりなどの地域イベントだけでなく、県外の公演やラジオ出演時にも、水戸のすばらしさを伝えるなど、ダンサーの枠を超えて、水戸のPR活動を続けています。

「私が自分で見て感じた水戸を、私にしかできない表現で届けたい。市内外の人々に向けて、水戸の魅力を自身の踊りと言葉で伝えるジャスミンさん。『水戸から世界へ』世界から水戸へ」をキーワードに、これからも水戸の魅力を発信していきます。

